

徴用工問題解決に向け、今こそ民間交流を広げよう

2019年2月8日 幡多高校生ゼミナール顧問会

韓国では最高裁が元徴用工への賠償を命じ、該当日本企業の韓国資産差し押さえを決定しました。対して日本政府は猛反発し、レーダー照射事件もあって、国家間の対立は泥仕合の様相を呈しています。このような状況をどう乗り越えたらいいのか、これまでの経験を踏まえて、私たちに問題提起をしてみたいと思います。

幡多高校生ゼミナールは1990年から地域の朝鮮人強制連行問題を調査し、1993年より韓国ソウルを訪問し草の根的な日韓交流を進めてきました。その様子は映画「渡り川」に収録され、韓国国営テレビでも報道されました。

その後、2003年より韓国釜山の高校生と12度に及ぶ相互訪問交流を行い、親睦を深めてきました。日本でも韓国でも地域をフィールドワークし、強制連行、従軍慰安婦、韓国人被爆者、竹島等々、シビアな問題について率直な意見交換を行なっています。討論は噛み合わないこともありましたが、主張をぶつけ合うことで互いの違いを尊重し、一致点で行動する高校生らしい清々しい交流パターンが生まれました。本音で語り合うことで信頼と友情が育まれます。実際、彼らの日韓交流は高校卒業後も個人的に長く続く場合があります。

結果、2009年地域の方々の協力を得て、津賀ダム平和祈念碑を建立することができました。津賀ダム建設で亡くなった多くの朝鮮人犠牲者を弔い、日韓の平和で友好的な未来を願ったものです。

国家間の感情的な対立が目立つ現在、私たちに大切なことは何より会って交流することではないでしょうか。直に顔と顔を合わせれば何か生まれます。草の根的な民間交流こそ、今求められていると思いませんか。最後に、津賀ダム平和祈念碑建立式典に参加した日韓高校生の感想を紹介します。

感想文（抜粋）

◦日本高校生16歳

僕たちは慰霊碑のそばにすえる「お地蔵様」を彫りました。日本式と韓国式の2体です。柏島の海で丸い石を拾ってきて、皆で金づちとノミでガンガン彫りました。石は思ったよりも硬く大変な作業でした



地蔵に仕上げのノミをふるう韓国高校生



日韓討論の一場面

が、歴史を作る行事に関わっていると思うと全く苦ではありませんでした。この作業の他には慰霊碑建設現場に行き、石を運んだり木を植えたり、朝鮮人の方のお墓を供養しました。数ヶ所に点在する無名墓の土を小さな骨つぼにとり、慰霊碑の下部に安置するのも僕たち高校生の大事な仕事でした。

今年の夏休み、高知県大正の津賀ダムで慰霊碑の除幕式を行いました。当日は大雨だったけれど、韓国で大雨は「歓迎の涙」と言われるくらいなので大雨の中決行しました。120 人もの参加でとても立派な、そしてとても感動した式になりました。韓国の人たちが涙を流しながら供養の民族踊りを踊りました。

慰霊碑建設は 20 年近くかかって今年やっと実現したものです。故郷に帰ることができないまま日本で亡くなった方々が数多くいることを知ってとても悲しいことだと思いました。現在の僕たちに罪はないと思いますが、果たすべき責任の重さを感じます。これからはこのような事がない平和な世の中にしなければなりません。

◦韓国高校生 17 歳

お亡くなりになった強制徴用犠牲者を称える慰霊祭は厳粛な雰囲気続き、歌を歌い、踊りを見る時は涙が出た。心から強制徴用された方々の冥福を祈った。慰霊祭が終わった後には「交流の夜」があり、日本の学生たちとの会話で感銘を受けた。特に「学校では強制徴用について学んだことがないので今回の慰霊祭で初めて知った。本当にごめんね」と言ってくれたNちゃんの姿が忘れられない。

日本政府は昔の歴史について謝罪することを回避し、歴史を歪曲し、次の世代が知らないようにしている。その点がとても腹が立った。しかし、今回の幡多セミナーは両国の理解や仲直りに良いきっかけになったと思う。慰霊祭に来てくださったメディアの記者たち、台風の大雨にもかかわらず来てくださった多くの日本人を見て本当にありがたい気持ち一杯だった。皆さんが民族ではなく、人間としての道理を見せてくれる姿を見て、韓国も歴史問題について感情的にならずにもっと理性的に考えるべきであると思った。今回の共生の旅を通じて韓日関係にもっと関心を持ちたいと思うようになった。初めて来た日本は、体は大変だったが心はその分軽かった。



建設に関わった地元の方々と高校生



平和祈念碑
津賀ダム



映画「渡り川」の DVD(上映権付)

- ・ 四万十川は「渡り川」ともいう。海峡を渡り国境を越え出会う、高校生たちの青春ドキュメンタリー映画
- ・ キネマ旬報ドキュメンタリー部門 1 位
- ・ 釜山国際映画祭参加作品
- ・ DVD 1500 円 (送料別 200 円)

・ 連絡先

〒787-0051 高知県市四万十市具同田黒 1-10-8

Tel・fax 0880-37-3833 上岡橋平

メール kamiokakyouhei@agate.plala.or.jp